

令和7年度(2025年度)第9回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和7年(2025年)11月17日(月) 午後2時30分～午後2時58分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	梅川 日出樹
文学部長	村尾 治彦
環境共生学部長	白土 英樹
総合管理学部長	宮園 博光
共通教育センター長	山田 俊
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎 (リモート参加)
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート (リモート参加)
熊本大学理事	宮尾 千加子
株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博
熊本県公立高等学校校長会長	田中 篤

○監事

公認会計士・税理士	吉川 榮一 (リモート参加)
-----------	----------------

○事務局

久保田事務局次長、柳田総務課長、堀口教務入試課長、藤本教務入試課教務班参事、岡村教務入試課教務班主事

○欠席委員・監事

地域・研究連携センター長	石橋 康弘
弁護士	本田 悟士

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 教員の採用について「経営学(人的資源論を含む)」

事務局総務課から、以下のとおり説明があった。

- ・今年度7件の教員採用案件のうち、今回審議対象となった1件について、全学審査委員会等の審査が終了している。
- ・総合管理学部長から、選考の基準、経過、最終候補者の経歴、教育研究業績、および模擬授業・面接結果の詳細な説明を行うので、そのことを踏まえ審議をお願いしたい。

1) 経営学(経営戦略論を含む)

宮園総合管理学部長から、資料1により、次のような説明があった。

- ・まず最初の公募時に、11名の応募があり、1名を最終候補者として推薦する予定であったが、本人から、辞退の申し出があった。その後再公募を行い、8名の応募があった。
- ・第1候補者は、今年度実施した「マーケティング」の最終候補者にも残っていたため、対面での面接へおこなわず、リモートで模擬事業を実施した。また役員面接も「マーケティング」時に実施していたため、再度の面接へおこなわず最終候補者になりたい。
- ・専門は観光ツーリズムであり、同分野において「人」の行動について研究を行っており、人的資源論に関する採用は十分に可能であると判断している。
- ・博士の学位を有しており、専任講師として採用を内申したい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## ② 令和8年度（2026年度）入学者選抜（大学院春季入学・春季募集：文部科学省「国費外国人留学生」関係）の選考の実施方針について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・現在、環境共生学部に、「国費外国人留学生」の奨学金を受けて、研究生として半年在籍している学生がおり、その学生がこの度同様の「国費外国人留学生」として、博士前期課程への進学を希望している。
- ・同様の事例は毎年あるものではなく、直近は令和3年度の秋季入学の博士後期課程で事例があった。
- ・今回この学生を受け入れるにあたって、本学大学院学則第13条の規定によると、学科試験等の選考方法を大学院委員会及び教育研究会議の議を経て、学長が定めるとある。
- ・資料2、記以下の1～5の項目にあるように、入試方式は、大学院博士前期課程の、春季募集の選抜・合格発表時期に合わせて実施することとし、試験方法は口頭試問（プレゼンテーション及び質疑応答）を予定している。
- ・先般の大学院委員会承認いただいたところであり、教育研究会議でもご審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## 4 その他

### 次回日程

令和7年度(2025年度)第10回 12月8日(月) 午前10時～ 本部棟大会議室

令和7年度(2025年度)第11回 12月15日(月) 午後2時30分～ 本部棟大会議室

## 5 閉会